

令和4年度 保育所評価（職員自己評価）集計結果

若狭浦保育所

1 評価時期 令和5年2月

2 集計結果

4：たいへんよい 3：よい 2：一部検討を要する 1：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		4	3	2	1	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、子ども達の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	5	6	1	0	
	(2) 保育目標は、保育所や若狭地域の特色を生かしているか。	5	5	2	0	
	(3) 保育目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	7	5	0	0	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かして作られているか。	7	3	2	0	・本来は全職員で意見を出し合って目標を設定できたらいいと思う。
保育について	(1) 事業計画は子ども達の実態に即して作られているか。	6	5	1	0	
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	3	8	1	0	
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	2	10	0	0	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	2	9	1	0	・用具が古いため新品購入の検討が必要。
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	3	9	0	0	
日時程	(1) 一日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	3	6	2	0	・加配職員数が足りなければ変更も必要。 ・朝のおやつ等、時間の見直し。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	5	5	2	0	・クリスマスは全体で何かやった方がいいと思う、クラスによって差があるので。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	4	7	1	0	
	(3) 子ども達の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	4	7	1	0	
	(4) 計画・実施・評価・改善（PDCA）の体制をとっているか。	3	4	5	0	・計画書を作成し、異年齢交流を進めていきたい。 ・もう少し早めに計画し、早めに職員に周知してほしい。
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	5	7	0	0	

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評価				意見・改善策
		4	3	2	1	
経営・組織	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	2	5	2	3	
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	1	4	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職務内容は明確だが、全員がそれを理解して、チームワークをもって保育に努めているとはあまり感じなかった。 ・ 後出しで話すことが多いため改善が必要。 ・ 各クラスで活動を進めることが多かったため全クラスの活動内容や人員配置を把握してお互い声をかけ合いながら進めていく必要がある。
	(3) 職員の配置は適材・適所か。	1	3	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前半はコロナウイルスの影響で休みの職員の穴埋めができる体制ではなく、ギリギリの人数で保育していたので個々に合わせて関わることが難しかった。 ・ 加配が足りない。
	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	4	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事のリーダーを決めてほしい、責任をもってほしいため。
運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	1	7	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理論的に話すことが多い。 ・ 今年同様リーダーだけでなく他の職員も会議に参加できるようにしたい。
	(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	2	5	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 去年よりも一人一人が意識できるようになっている。
	(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	2	4	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多忙な中での打合せ等なので、できていると思う。 ・ 周知が遅い。 ・ 事前の打ち合わせが少ない。
クラス経営	(1) 各クラスの目標は、保育所全体の保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	3	9	0	0	
	(2) 各クラスの目標は、子ども達の実態に即して設定しているか。	5	7	0	0	
	(3) クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	5	6	1	0	
	(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	1	9	2	0	
	(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	1	5	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームとして考えた時に不安がある。
	(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	3	7	2	0	
保健・安全指導	(1) クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	5	6	1	0	
	(2) 避難訓練・交通安全指導等を、計画に基づいて適切に実施しているか。	7	4	1	0	
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	7	4	1	0	

		(4)子ども達の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	7	5	0	0	
研究・研修	所内研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	3	5	2	2	・研究できていない。
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。	3	7	1	1	・研修自体はもう少しあってもいいと思うが人員不足の中、行っているのが適切と思う。 ・今年はたくさんの所内研修があつてよかった。
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、子ども達の育ちに反映させているか。	3	5	2	2	
		(4)研究の実践による子ども理解が深まりを見せているか。	3	4	3	2	
	所外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	5	6	1	0	
		(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	4	5	3	0	
情報について	(1)子ども達や保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。	8	4	0	0		
	(2)公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	7	5	0	0		
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	5	5	1	1		
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	6	6	0	0		
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	5	6	1	0		
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	5	6	1	0	・不審者訓練では、男性職員だけではなく、女性職員もさすまたの使い方など不審者に対応できるよう練習できるといいと思う。	
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	7	4	1	0		
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	5	6	0	0		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	2	3	6	1	・今後に期待する。 ・コロナ明け(新年度)に期待する。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、子ども達が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	1	3	6	2	・今年度は他施設との交流ができなかったのが、次年度は積極的に交流できるとうれしい。(若狭こども園、小禄こども園と合同散歩等) ・交流がまだない。 ・今後交流できたらよいと思う。
		(3)保こ幼小の指導者同士が、打合せや合同研修、保育・教育参観等を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	1	3	4	4	・実施はしているが、職場内での共有が行われていない気がする。
		(4)保育や授業等を参観するなどして、こども園・小学校の教育を理解しているか。	1	1	6	3	
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	1	0	5	5	
家	(1)保育参観等、保育所を地域保護者に広く					・コロナが明ければ地域交流してい	

り 庭 地 域 ・ 社 会 と の 連 携	開放しているか。	7	3	1	1	けると考える。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	4	3	3	1	・ 保育所側から積極的に地域との交流を提案し、交流の機会をつくれるといいと思う。
	(3) 子ども達の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	1	3	5	3	・ 普段散歩コースで通るお店や自治会の方と一緒に散歩に行ったり園庭で交流するなど。 ・ コロナでできていない。 ・ 今年は児童館利用も含め少ない。 ・ コロナがおさまったら積極的に交流していけたらいいと思う。
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	1	2	5	4	・ 現段階では厳しいが、来年度以降には取り入れていきたい。 ・ 若狭公民館の図書館利用や若狭公民館まつりの参加ができると思う。 ・ コロナがおさまったら積極的に交流していけたらいいと思う。
子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。	0	4	4	3	・ 次年度期待している。
	(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	0	3	5	4	・ 次年度期待している。 ・ コロナがおさまったら検討して支援できたらいいと思う。
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	0	1	6	5	・ 保護者からの個人的な質問には答えているがもと保護者同士で子育てに関する悩みを共有しながら一緒に関わり方を考えたり、意見交換や保育に関する知識を共有できたらいいと思う。 ・ コロナがおさまったら検討して支援できたらいいと思う。
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	2	6	4	0	
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	5	7	0	0	
情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	7	5	0	0	
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設や小学校に対して周知しているか。	2	4	5	1	
外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	7	5	0	0	
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	5	6	1	0	

◎ その他、何でも記入してください。

- ・ 今年度は初めて第三者評価機関が入り、いろいろな改善を指摘された。事務の立場からも、もっと積極的に関わり、園運営について勉強が必要だと感じた。「子どもの最善の利益を事務的役割の中でどのようなことができるか考えていきたい。
- ・ 書類業務は業務中に時間を確保して終わらせられたらとてもよい。書類もできる限り簡素化してほしい。
- ・ 保育に関わることで情報がおりてくるのが遅い。決まった時点でおろしてほしい。不明確であっても担任は先を見据えて保育を行っているのでイメージできるように早めに伝えてほしい。
- ・ 今年度は保育参観やおまねき会等、保護者や祖父母が参観できる機会が多くあり、子ども達の保育所での様子を見ることが増えてよかった。

- ・ 今後は地域の方と散歩する機会を設け、開かれた保育所づくりをすすめていきたい。
- ・ 毎月第三土曜日の研修はとても充実していて保育に活かせた。今後は少しずつ研究等について考えていきたい。
- ・ 今年度は異年齢交流を進める中で、PDCAが不足していると感じた。他のクラスと意見を出し合い、計画をして進めていきたい。
- ・ 今年は職員の人数も減ったこともあり、一人一人が責任をもっていろいろすすめられていたように感じる。また研修も多く取り入れてくれたため、意識も高くなっている。
- ・ 朝、所長が庭の掃除を手伝ってくれているので、保育に専念したり、他の場所を片付ける時間がもてるようになった。ありがとうございます。
- ・ 本部との関係が近くなったので、今後他園（こども園）との交流や合同勉強会等の時間ももてるとうい。
- ・ コロナの対策が弱かった。

【考 察】

一年間、職員一丸となって保育に取り組んできたが、全体として改善すべき項目は多い。その中で、特に以下の項目で評価2または1の割合が高く、課題として挙げられ、その対応が求められる。

1 【分掌・体制】

「協働体制の構築」（12名中7名）、「職員の配置」（12名中8名）。今年度は職員数の減少に加え、コロナによる職員の休みが職員の配置と活動を圧迫する一因となった。そのため、他クラスと連携した活動やチームとしての活動が機能しないことがあった。今後は新規職員の積極的な雇用とともに、法人事務局や姉妹園との応援協力体制の構築が求められる。

2 【運 営】

「打合せについて」（12名中6名）。上記の状況もあり、職員がクラスを離れることができず、必要な打合せの回数や時間を確保することが難しかった。今後コロナの状況が快方に向かう中で、会議の持ち方を工夫しながら打合せの質を高めていきたい。

3 【施設間交流・連携、家庭地域・社会との連携】

「他施設との連携」（12名中7名）、「地域との連携」（12名中9名）など。

取組の必要性は十分に理解しているが、令和4年度はコロナ禍の中、連絡会議や合同研修等、連携の機会をもつことが難しかった。次年度以降、コロナ禍が収束した後は積極的に取り組んでいきたい。地域との連携についてもコロナ禍の中、同様である。

4 【子育て支援の推進】

「施設の開放」（11名中7名）、「保護者対象学習会の実施」（12名中11名）など。

コロナ禍の中、保育所施設の開放や地域親子との交流の機会は制限されている。その中で、本保育所の特性を生かし専門学校と連携した学習会の開催は可能であると考ええる。

今年度はコロナの影響を大きく受けた一年間であった。それも少しずつ以前の状況に戻りつつある。今後は、これまでできなかったことに積極的に取り組み、保育を一層充実させる必要がある。今回挙げられた課題を職員一人一人が自分事としてとらえ、目の前の子ども達のために改善できるよう取り組んでいきたい。